



1995年4月1日(土)～4月29日(土)

地震によって生じた断層により、ズタズタになった地層(市内出縄)

今月の寄贈品コーナー

4月1日～29日

『地震と平塚の地盤』

■阪神淡路大震災は死者約5500人、家屋損壊約20万棟を越える未曾有の大災害となりました。こうした大災害は建造物の作り方の問題もありますが、地盤の良し悪しに深く関わっています。

■今回の寄贈品コーナーでは、「地震と平塚の地盤」をテーマに

- ①阪神淡路大震災の建物被害
- ②日本の活断層の分布
- ③平塚の地盤と活断層
- ④県による来たるべき地震の被害想定について展示します。

■平塚市域の平野の中でも表層の地盤の違いにより、揺れの程度や建物の被

害が大きく異なることが予想され、液状化の発生する箇所も数多いと推定されます。市域には何本かの活断層も存在しており、その活動履歴や再来周期はほとんどわかっていません。博物館では今後、こうした表層の地盤や活断層について調査していきたいと考えています。

■私たちの住む平塚市域の地盤が何からできているのか、どこに活断層が走っているのか、予想される地震の被害想定がどのようなになっているのかを理解し、今後の地震の対策に少しでも参考にさせていただければと思います。